

NT-507T

取扱説明書

ネットワークトランスポート

ティアック製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

ご使用になる前にこの取扱説明書をよくお読みください。

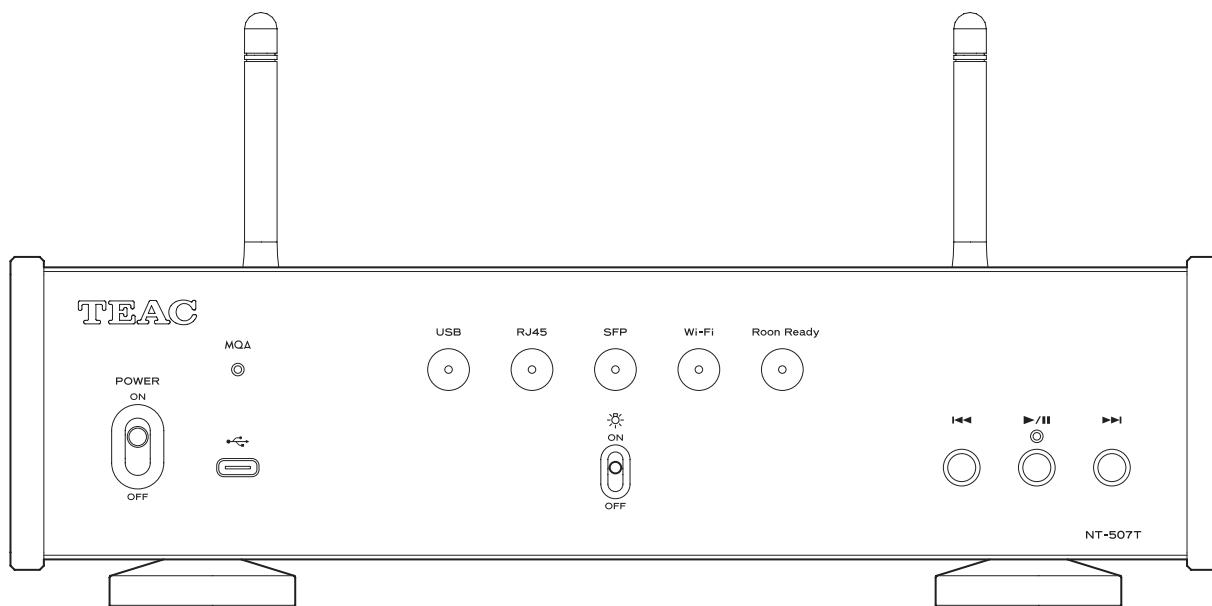
また、お読みになったあとは、いつでも見られるところに大切に保管してください。

末永くご愛用くださいますよう、お願い申し上げます。

本機のネットワーク機能については、TEAC HR Streamer 取扱説明書をご覧ください。

取扱説明書（本書）および TEAC HR Streamer 取扱説明書は、TEAC ウェブサイト（<https://teac.jp/jp/>）からダウンロードすることができます。

ネットワーク機能及び USB メモリーの再生を行う場合は、TEAC HR Streamer（無償）をインストールしたタブレット / スマートフォンを同一ネットワークに接続する必要があります。



DSD
Direct Stream Digital

 **MQA**

ROON
READY

目次

| | |
|------------------------------------|----|
| 安全にお使いいただくために | 3 |
| 無線機器の使用に関する注意 | 5 |
| 付属品 | 6 |
| お使いになる前に | 6 |
| 設置について | 6 |
| アプリについて | 7 |
| お手入れ | 7 |
| ユーザー登録について | 7 |
| 接続 (リアパネル) | 8 |
| ネットワークの接続 | 10 |
| Wi-Fi® ルーター (アクセスポイント) と接続する | 11 |
| アンテナを接続する | 11 |
| アプリから接続する | 11 |
| WPS を使って接続する | 12 |
| 各部の名前とはたらき (本体) | 13 |
| 基本操作 | 14 |
| 電源オン / オフ | 14 |
| 簡易再生 | 14 |
| MQA (Master Quality Authenticated) | 15 |
| 困ったときは | 15 |
| 仕様 | 16 |
| デジタル音声入力 | 16 |
| デジタル音声出力 | 16 |
| 信号形式 | 16 |
| 一般 | 16 |
| 付属品 | 16 |
| 保証とアフターサービス | 19 |

MQA and the Sound Wave Device are registered trademarks of MQA Limited © 2016

"DSD" is a registered trademark.

Apple and App Store are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.

App Store is a service mark of Apple Inc.

Android is a trademark of Google Inc.

Google Play は、Google Inc. の商標です。

Wi-Fi は Wi-Fi Alliance の登録商標です。

その他、記載されている会社名、製品名、ロゴマークは各社の商標または登録商標です。

オープンソースに関する著作権およびライセンスは、当社ホームページ内の製品ページに記載します。

<https://teac.jp/jp/product/nt-507t/download>

音のエチケット

楽しい音楽も、場合によっては大変気になるものです。静かな夜間には小さな音でもよく通り、隣近所に迷惑をかけてしまうことがあります。



適当な音量を心がけ、窓を閉めたりヘッドホンを使用するなどして、お互いに快適な生活環境を守りましょう。

このマークは音のエチケットのシンボルマークです。

安全にお使いいただくために

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の注意事項をよくお読みください。

| | |
|---|---|
|  | 警告 以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。 |
|  | 万一、異常が起きたら 煙が出たり、変なにおいや音がするときは 機器の内部に異物や水などが入ったときは この機器を落としたり、カバーを破損したときは すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。 異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。 販売店またはティック修理センター(裏表紙に記載)に修理をご依頼ください。 |
| | 電源コードを傷つけない 電源コードの上に重いものをのせたり、コードを壁や棚との間に挟み込んだり、本機の下敷きにしない 電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、熱器具に近づけて加熱したりしない コードが傷んだまま使用すると火災・感電の原因となります。 万一、電源コードが破損したら(芯線の露出、断線など)、販売店またはティック修理センター(裏表紙に記載)に交換をご依頼ください。 |
|  | 付属の電源コードを他の機器に使用しない 故障、火災、感電の原因となります。 |
| | 交流100ボルト以外の電圧で使用しない この機器を使用できるのは日本国内のみです。表示された電源電圧(交流100ボルト)以外の電圧で使用しないでください。また、船舶などの直流(DC)電源には接続しないでください。火災・感電の原因となります。 |
| | この機器を設置する場合は、放熱をよくするために、壁や他の機器との間は少し(3 cm以上)離して置く ラックなどに入れるときは、機器の天面から5cm以上、背面から10cm以上のすきまをあけるすきまをあけないと内部に熱がこもり、火災の原因となります。 |
| | この機器の通風孔などから内部に金属類や燃えやすい物などを差し込んだり、落としたりしない火災・感電の原因となります。 |
| | この機器の通風孔をふさがない 通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。 |
|  | イヤホンやヘッドホンからの過度の音圧は、聴覚障害の原因となります。聴覚障害の可能性を防ぐために、長時間、高音量で聴かないで下さい。 |
|  | 電源プラグにほこりをためない 電源プラグとコンセントの間にゴミやほこりが付着すると、火災・感電の原因となります。 定期的(年1回くらい)にACアダプターの電源プラグを抜いて、乾いた布でゴミやほこりを取り除いてください。 |
|  | 機器の上に花びんや水などが入った容器を置かない 内部に水が入ると火災・感電の原因となります。 |

安全にお使いいただくために

| | |
|---|--|
|  | 警告 以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。 |
|  分解禁止 | この機器のカバーは絶対に外さない カバーを開けたり改造すると、火災・感電の原因となります。 内部の点検・修理は販売店またはティック修理センター(裏表紙に記載)にご依頼ください。 |
| | この機器を改造しない 火災・感電の原因となります。 |

| | |
|--|---|
|  | 注意 以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。 |
|  電源プラグをコンセントから抜く | 移動させる場合は、電源のスイッチをオフにし、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続ケーブルを外す ケーブルが傷つき、火災・感電の原因や、引っ掛けたけがの原因になることがあります 旅行などで長期間この機器を使用しないときやお手入れの際は、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜く 通電状態の放置やお手入れは、漏電や感電の原因となることがあります。 |
|  指示 | オーディオ機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続する また、接続は指定のケーブルを使用する 電源を入れる前には、音量を最小にする 突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。 フロントパネルの左右にある取っ手状の部品は装飾です。これに指を入れたり、これを持って本機を持ち運んだりしないでください。 この機器はコンセントの近くに設置し、電源プラグは簡単に手が届くようにする 異常が起きた場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、完全に電源が切れるようにしてください。 この機器には、付属の電源コードを使用する それ以外の物を使用すると、故障・火災・感電の原因となります。 |
|  禁止 | ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない 湿気やほこりの多い場所に置かない。風呂、シャワー室では使用しない 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所に置かない 火災・感電やけがの原因となることがあります。 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。 必ずプラグを持って抜いてください。 |
|  禁止 | 濡れた手で電源プラグを抜き差ししない 感電の原因となることがあります。 |

| | |
|---|--|
|  愛情点検 | 電源コードや本体に異常がないか、定期的に点検してください。 内部にはこりがたまつたまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。 特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。 5年に1度は、販売店またはティック修理センター(裏表紙に記載)に内部の点検をご依頼ください。費用についてはお問い合わせください。 |
|---|--|

無線機器の使用に関する注意

本機使用上の注意

本機の使用周波数は 2.4GHz/5GHz 帯です。この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、免許を要する工場の製造ラインで使用されている移動体識別用の構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局や免許を要するアマチュア無線局などが運用されています。

他の機器との干渉を防止するために、以下の点に十分ご注意いただきご使用ください。

- 本機を使用する前に、近くで他の無線局が運用されていないことを確認してください。
- 万一、本機と他の無線局との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本機の使用場所を変えるか、使用を停止してください。
- 不明な点その他にお困りのことが起きたときは、お買い上げの販売店または、弊社 AV お客様相談室（裏表紙に記載）へお問い合わせください。

2.4 FH/DS/OF4

本機は 2.4GHz 帯を使用する無線機器です。変調方式として FH-SS、DS-SS および OFDM 変調方式を採用し、与干渉距離は 40m です。

IEEE 802.11b/g/n/ax

IEEE 802.11a/n/ac/ax

J52 W52 W53 W56

本機は IEEE 802.11a/b/g/n/ac/ax 規格に準拠しています。 (W52/W53/W56)

5GHz 帯 (W52/W53) の屋外での使用は禁止されています。

- 本機は電波法に基づく小電力データ通信システム無線局設備として技術基準適合証明を受けています。従って、本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。ただし、以下の事項を行うと、法律で罰せられことがあります。

- 分解 / 改造すること
- 本機に貼ってある証明ラベルをはがすこと



- 本機の 5GHz 帯無線 LAN(W52/W53) を屋外で使用すること
- アンテナは必ず付属品を使用してください。他のアンテナを使用して生じた電波障害や不具合等について、当社では責任を負いかねます。また、本製品は日本国内でのみご使用ください。
- 本機は電波を使用しているため、第三者が故意または偶然に傍受することが考えられます。重要な通信や人命にかかわる通信には使用しないでください。
通信時に、データや情報の漏洩が発生しても責任を負いかねます。予めご了承ください。
- 次の場所では本機を使用しないでください。
再生音が途切れたり、ノイズが出る場合があります。
 - 2.4GHz/5GHz 用周波数帯域を利用する、無線 LAN、電子レンジ、デジタルコードレス電話、Bluetooth などの機器の近く。
電波が干渉して音が途切れことがあります。
 - ラジオ、テレビ、ビデオ機器、BS/CS チューナーなどのアンテナ入力端子を持つ AV 機器の近く。
音声や映像にノイズがのることがあります。

付属品

万一付属品に不足や損傷がありましたら、お買い上げになった販売店、または弊社 AV お客様相談室（裏表紙に記載）にご連絡ください。

電源コード × 1

アンテナ × 2

フット用クッション × 3

取扱説明書（本書、保証書付き）× 1

お使いになる前に

⚠ 設置の注意

直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど、温度が高くなるところに置かないでください。また、アンプなど熱を発生する機器の上には置かないでください。変色や変形、故障の原因となります。

設置について

本機の底面には、鋼鉄製のフットを微小な隙間を持たせた半固定状態で装備しています。そのため、製品を持ち上げた際には、フットは底面からわずかに動きます。

本体設置時に、筐体がフットから不要なストレスを受けることなく、フットの上に載る構造となっています。

- フットが製品底面からわずかに動きますが、不良ではありません。
- 設置面を傷付けたくない場合は、フットの裏に付属のフット用クッションを貼ってお使いください。
- 本機のトップパネルは半固定状態で装着されています。パネルがわずかに動きますが、不良ではありません。

- ご使用になったカセットテープ、CD、SD カード、USB フラッシュメモリー等の記録媒体（以下「媒体」といいます）が原因で本機が故障した場合は、保証期間内であっても保証対象外となります。

※長年ご使用にならない、または、すでに長時間使用された媒体、カビ・汚れ・ベタつき・折れ・捻じれなどが見られる媒体のご使用は、避けてください。

- 媒体に起因して生じた製品または媒体の破損、テープの巻き込み、データの喪失等につきましても、弊社では一切の責任を負いかねます。また、その他の逸失利益、間接的・派生的な損害、その他特殊な事情から生じた損害につきましても、同様です。

※万が一の場合に備えて、あらかじめデータのバックアップの作成等、お客様にてデータの保存や保護措置を講じられることをお勧めいたします。

アプリについて

本機のネットワーク機能及びUSBメモリーの再生機能を使用するには、TEAC HR Streamer（無償）をインストールしたスマートホンやタブレットを同一ネットワークに接続する必要があります。

アプリをタブレット／スマートフォンにインストールすると、無線ネットワークの環境で本機の操作が可能になります。

- アプリは無料でダウンロードしてご使用いただけます。

タブレット／スマートフォン用アプリの入手方法

App Store または Google Play ストアにて「TEAC HR Streamer」で検索してください。



App Store



<https://apps.apple.com/jp/app/teac-hr-streamer/id1185764132>

Google Play ストア



<https://play.google.com/store/apps/details?id=com.teac.jp.TeachrStreamer&hl=ja>

USB フラッシュドライブ端子に接続した USB メモリーの音楽ファイルを再生する

- 1.USB メモリーに音楽ファイルを入れて、USB フラッシュドライブ端子に接続します。
- 2.TEAC HR Streamer 取扱説明書の「さあ、始めましょう」の手順に沿ってセットアップメニューを表示します。
- 3.Music Player で「TEAC NT-507T」を選択します。
- 4.ミュージックライブラリーを選択し、「TEAC NT-507T USB Music Server」を選択します。
 - 音楽ファイルの数が多いと、ミュージックライブラリーの更新に数分かかることがあります。

以上で USB フラッシュドライブ端子に接続した USB メモリーの音楽ファイルを再生する準備は終了です。TEAC HR Streamer 取扱説明書をご覧になり、プレイリストを作成して再生してください。

メモ

ネットワークモジュールのファームウェアは TEAC HR Streamer を介して更新されます。定期的に TEAC HR Streamer で本機を選択し、最新のファームウェアに更新することを推奨します。

ファームウェアに更新があった場合、自動的に更新を促すポップアップが表示されます。

お手入れ

トップカバーやパネル面の汚れは、薄めた中性洗剤を少し含ませた柔らかい布で拭いてください。化学ぞうきんやベンジン、シンナーなどで拭かないでください。表面を傷める原因となります。

⚠ お手入れは安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

ユーザー登録について

TEAC のウェブサイトにて、オンラインでのユーザー登録をお願いいたします。

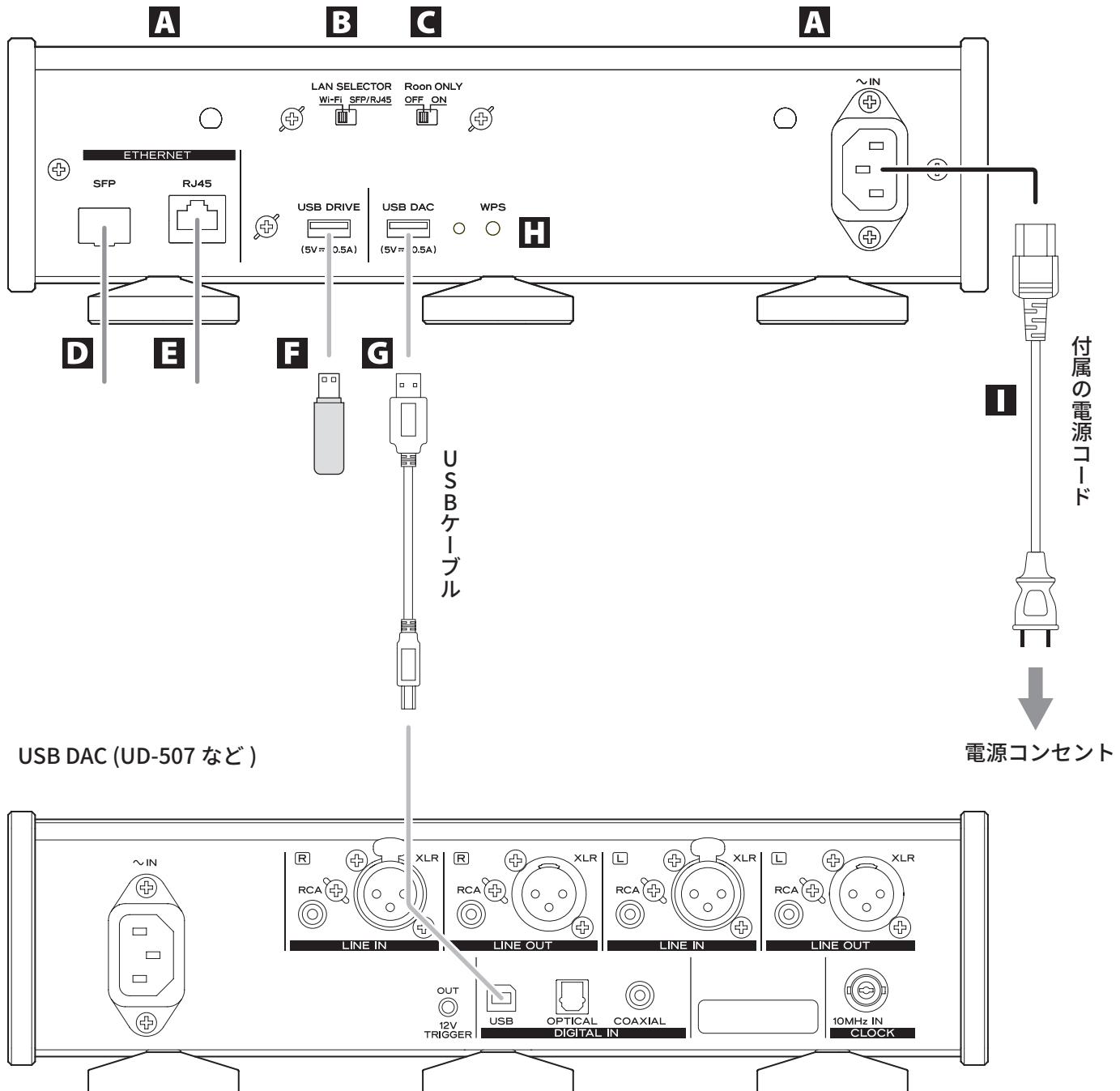
<https://teac.jp/jp/signup>

接続 (リアパネル)

⚠ 全ての接続が終わってから電源をオンにしてください。

- 接続する機器の取扱説明書をよく読み、説明に従って接続してください。
- ノイズ発生の原因となるため、各接続ケーブルを電源コードと一緒に束ねないでください。
- 各プラグはしっかりと差し込んでください。

リアパネルのスイッチは、電源オフの状態で変更してください。



A アンテナ端子

付属のアンテナを接続してください。(11 ページ)

B ネットワーク接続選択スイッチ (LAN SELECTOR)

Wi-Fi

Wi-Fi を使用するときに設定します。

- 必ずアンテナ端子にアンテナを接続してください。(11 ページ)

SFP/RJ45

Wi-Fi を使用しないときに設定します。

本機から電波を出力しません。

C Roon Ready 専用モード設定スイッチ (Roon ONLY)

OFF

通常モード。ネットワークの全ての機能を使用できます。

ON

Roon Ready 専用モードです。

ネットワークは Roon しか接続できません。

Roon 以外のネットワーク機能(OpenHome(UPnP)、Spotify Connect、Tidal Connect、Qobuz Connect など)を停止させることで音質向上が望めます。

注意

TEAC HR Streamer などの OpenHome(UPnP) コントロールアプリから Player/Renderer として本機は表示されなくなります。

D SFP 端子 (SFP)

市販の SFP モジュールを使って、SFP ポート付きスイッチング HUB ネットワークに接続してください。(10 ページ)

- 1000Mbps に対応した SFP モジュールをお使いください。より速い速度のみに対応した SFP モジュールは接続できません。
- SFP+ モジュールには対応していません。

E RJ45 端子 (RJ45)

有線ネットワークに接続するときは、市販の LAN ケーブルを使って、この端子に接続してください。(10 ページ)

F USB フラッシュドライブ端子 (USB DRIVE)

音楽ファイルが保存されている USB メモリーを接続してください。

- 供給電流は最大 0.5A です。
- この端子は、接続した USB メモリー内の音楽ファイルを再生する場合にのみ使用できます。
- USB フラッシュドライブ端子に接続した USB メモリーの音楽ファイルを再生するときは、アプリを使って再生してください。(7 ページ)

G USB 端子 (USB DAC)

市販の USB ケーブルを使って USB DAC と接続します。

H WPS ボタン (WPS)

Wi-Fi 接続するときに使用します。(11 ページ)

I 電源インレット (~ IN)

付属の電源コードを差し込んでください。

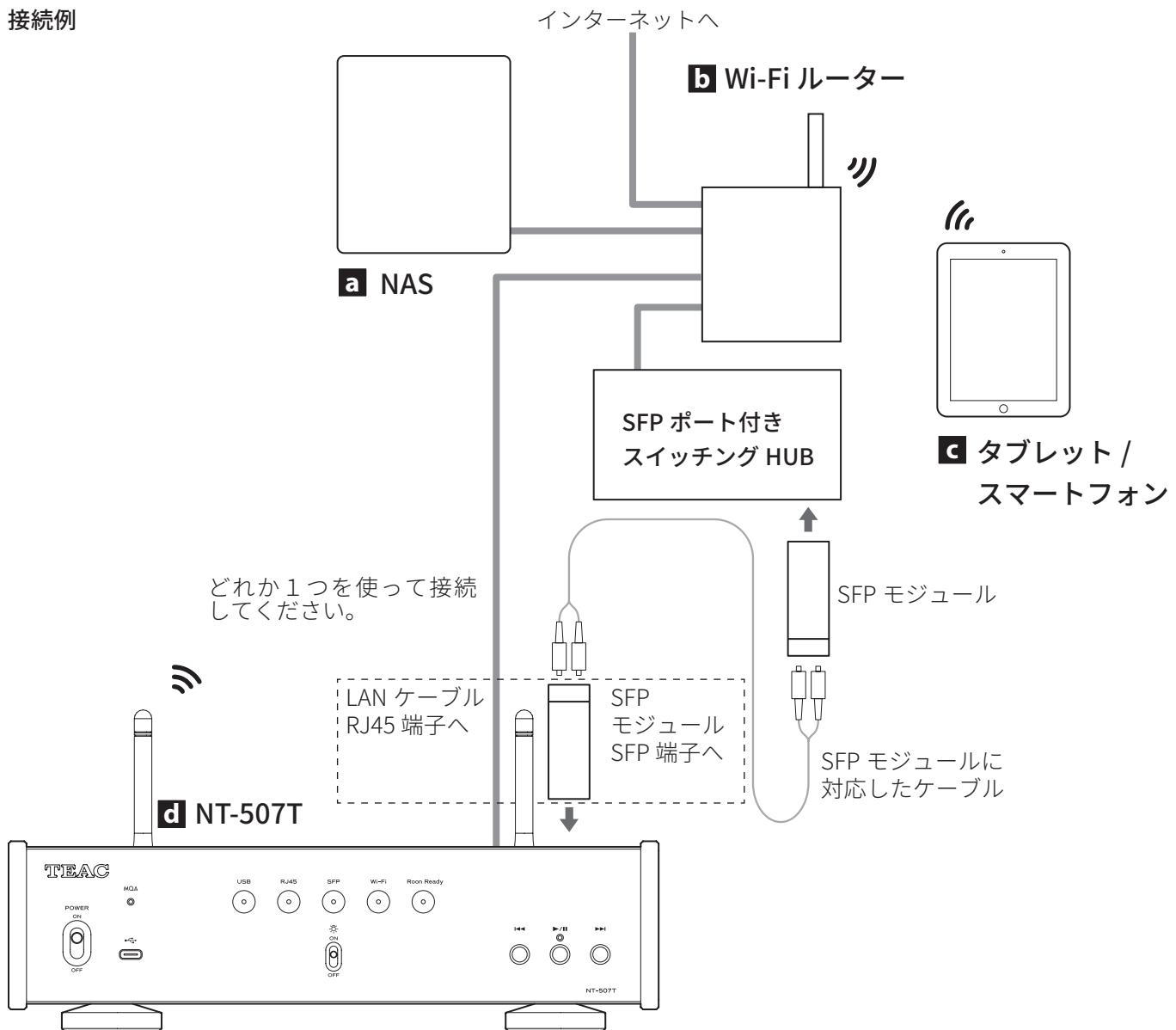
全ての接続が終わったら、電源プラグを AC100V の電源コンセントに差し込んでください。

! 付属の電源コード以外は使わないでください。火災や感電の原因になることがあります。また、長期間使用しないときは、コンセントから電源プラグを抜いておいてください。

ネットワークの接続

- インターネット接続は、タブレット / スマートフォンへのアプリのインストールや、本機のNETファームウェアのアップデート、インターネットラジオなどに必要です。

接続例



a NAS(ネットワークアタッチドストレージ)

音楽ファイルを保存します。
メディアサーバーとして UPnP サーバーが動作していることが必要です。

b Wi-Fi ルーター

タブレット / スマートフォンを Wi-Fi 経由で本機と NAS に接続します。

c タブレット / スマートフォン

アプリをインストールして、本機をコントロールします。

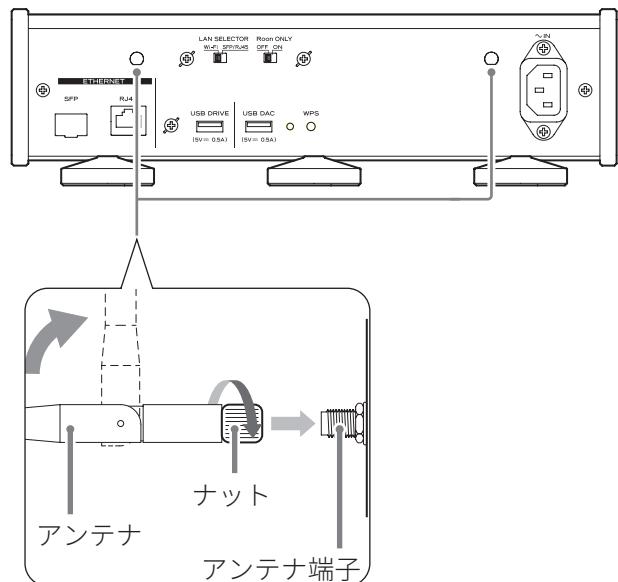
d NT-507T

本機

- LAN ケーブル、SFP モジュールと Wi-Fi のどれか 1 つを使って、ネットワークに接続してください。
1 つのネットワークに複数の経路で接続すると、ネットワークがループ接続され、ネットワーク全体の通信速度が低下したり、通信ができなくなったりします。

Wi-Fi® ルーター（アクセスポイント）と接続する

アンテナを接続する



- 付属のアンテナを、アンテナ端子に差し込む。
- アンテナのナットを回して、アンテナ端子に固定する。
- アンテナを起こす。

注意

- アンテナは付属の NT-507T 専用品をお使いください。
- アンテナを曲げる向きに注意し、無理に曲げないでください。

アンテナ接続後、リアパネルのスイッチを以下の設定にして、アクセスポイントと接続してください。

ネットワーク接続選択スイッチ (LAN SELECTOR)

Wi-Fi

Roon Ready 専用モード設定 (Roon ONLY)

OFF

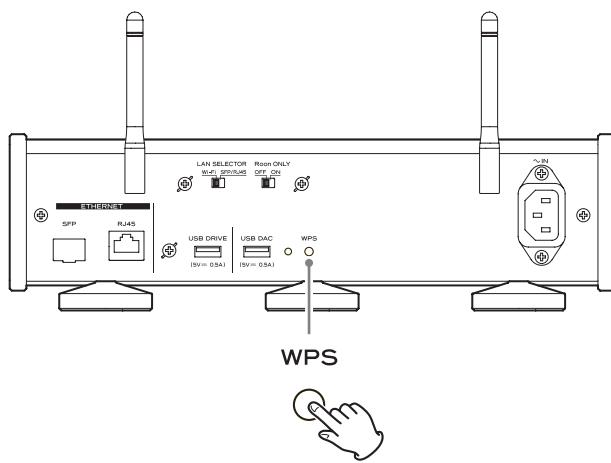
はじめてアクセスポイントに接続するには、2つの方法があります。

- アプリから NT-507T を探してアクセスポイントのパスワードを入力する方法
- WPS 機能を使用して接続する方法

一度アクセスポイントに接続すると、2回目からは設定されたアクセスポイントに接続します。

アプリから接続する

- リアパネルの WPS ボタンを 5 秒以上長押しする。



Wi-Fi インジケーターが点滅を始め、本機が一時的にアクセスポイントとなり、アプリからの接続待機状態となります。

- TEAC HR Streamer から NT-507T を探す。
- TEAC HR Streamer のセットアップから「Wi-Fi 接続設定」を実行します。



Wi-Fi® ルーター（アクセスポイント）と接続する（続き）



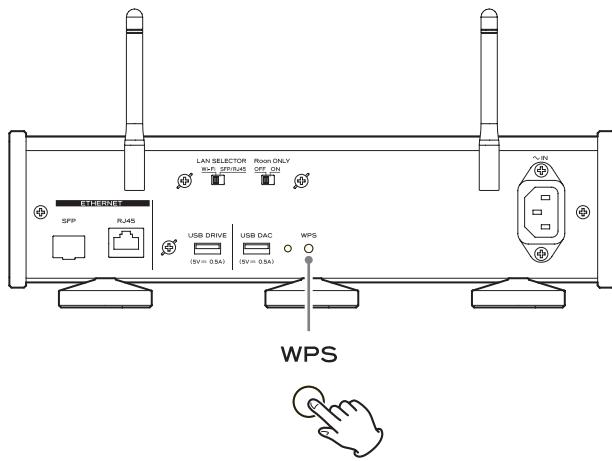
NT-507T が見つかったら、接続するアクセスポイントのパスワードを入力します。



接続が完了すれば、本機の Wi-Fi インジケーターが点灯に変わります。

WPS を使って接続する

1 リアパネルの WPS ボタンを押す。



MQA(赤) と Wi-Fi のインジケーターが、点滅を始めます。

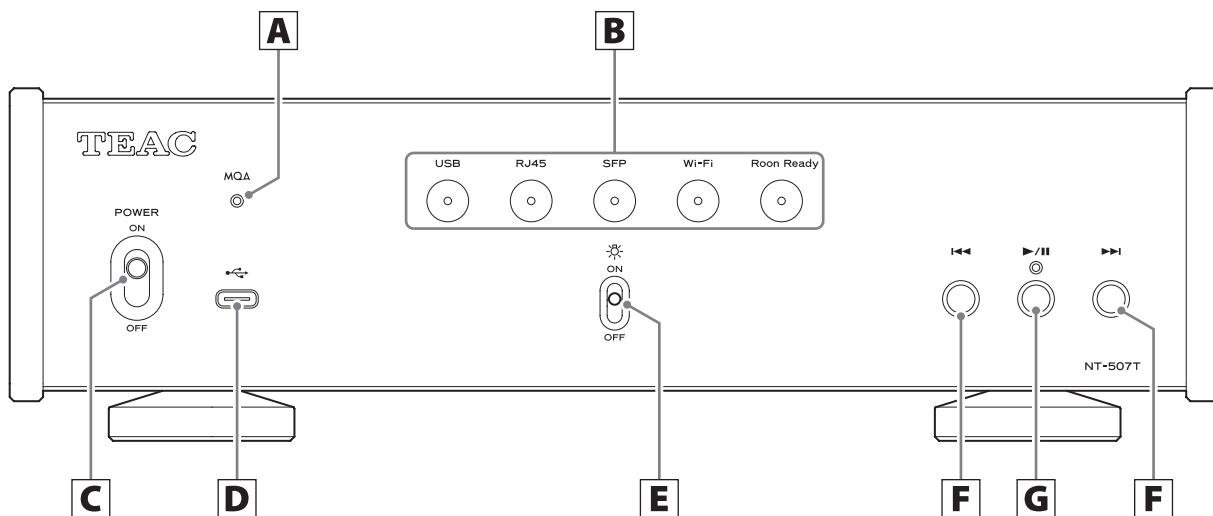
- 2 分経過すると自動的に WPS 接続モードが解除されます。

2 Wi-Fi ルーター（アクセスポイント）の WPS ボタンを押す。

詳細は、Wi-Fi ルーター（アクセスポイント）の取扱説明書を参照してください。

Wi-Fi ルーター（アクセスポイント）と接続すると本機の Wi-Fi インジケーターが点灯します。

各部の名前とはたらき (本体)



A MQA インジケーター (MQA)

MQA データをデコードしているときに点灯します。

B ステータスインジケーター

点灯時以下の状態を表します。

USB

USB DAC と接続中

RJ45

RJ45 端子経由でネットワークに接続中

SFP

SFP 端子経由でネットワークに接続中

Wi-Fi

Wi-Fi でネットワークに接続中

Roon Ready

Roon Ready 専用モード設定中、または、Roon Ready で通信中

- Roon Ready 専用モードでは、本機は TEAC HR Streamer などの OpenHome コントロールアプリや Spotify、Tidal などのアプリから認識されません。

C 電源スイッチ (POWER)

電源をオン / オフします。

- 電源スイッチ (POWER) が ON で、インジケーターの表示が消えている場合、以下の状態のいずれかになっています。
 - ・電源コンセントが抜かれている。
 - ・インジケータースイッチが OFF になっている。

D USB フラッシュドライブ端子 (●◀▶)

音楽ファイルが保存されている USB メモリーを接続してください。

- 供給電流は最大 0.5A です。
- この端子は、接続した USB メモリー内の音楽ファイルを再生する場合にのみ使用できます。
- USB フラッシュドライブ端子に接続した USB メモリーの音楽ファイルを再生するときは、アプリを使って再生してください。(7 ページ)

E インジケータースイッチ (※)

ON

フロントパネルのインジケーターが状態に応じて点灯します。

OFF

インジケーターを消灯します。

- ネットワークに接続されていないなど、再生できる状態になっていないときは消灯しません。

F スキップボタン (◀◀/▶▶)

プレイリストの再生位置を前または後ろにスキップします。

再生中に長押しすると早戻し / 早送りをします。長押しを繰り返していくと、早戻し / 早送りのスピードが変わります。

G 再生 / 一時停止ボタン (▶/II)

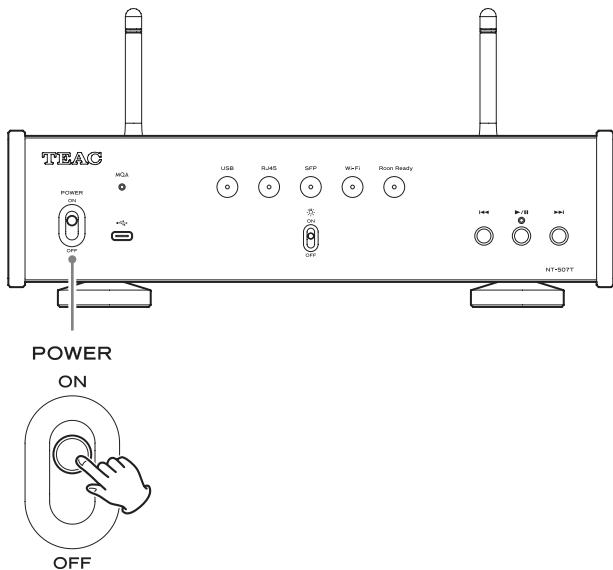
設定されているプレイリストの再生をします。(14 ページ)

再生中はこのボタンの上にある再生インジケーターが点灯します。

再生中に押すと、再生を一時停止し、再生インジケーターが消灯します。

基本操作

電源オン / オフ



電源スイッチ (POWER) を ON にします。

- 電源オン後、アプリを使って再生操作をしてください。
- 本機を使用するときは、接続してある機器 (D/A コンバーター、アンプなど) の電源もオンにしてください。アンプの電源は最後に入れてください。

簡易再生

本機と接続した OpenHome 対応のコントロールアプリ (TEAC HR Streamer など) を使用し、プレイリストに楽曲を登録すると、本機の再生 / 一時停止ボタン (▶/II) とスキップボタン (◀◀/▶▶) を使用してプレイリストに登録された楽曲の再生操作を行うことができます。

MQA (Master Quality Authenticated)

MQA は、英国が誇るオリジナルマスター録音のサウンドを実現する技術として高く評価されています。マスター MQA ファイルは完全に認証され、ストリーミングまたはダウンロードに適したコンパクトなファイルサイズが特長です。

詳細は、www.mqa.co.uk をご覧ください。

NT-507T は MQA に対応しており、MQA オーディオ・ファイル、MQA ストリーミングの再生が可能で、オリジナルマスター録音のサウンドをお届けします。

MQA インジケーターは、本機が MQA ストリームまたは MQA ファイルをデコードして再生していることを示すために緑または青に点灯し、音声が元の音源と同一であることが保証されていることを示します。青の点灯は、スタジオでアーティスト / プロデューサーによって承認されたか、または著作権所有者によって確認された MQA スタジオファイルを再生していることを示すものです。

困ったときは

本機の調子がおかしいときは、サービスを依頼される前に以下の内容をもう一度チェックしてください。それでも正常に動作しない場合は、お買い上げの販売店またはティアック修理センター（裏表紙に記載）にご連絡ください。

電源がオンにならない

- ▶ 電源コードがきちんと電源に接続されているか、差しこみが不完全ではないかを確認してください。
コンセントがスイッチ式の場合、オンになっているか確認してください。
- ▶ コンセントに他の電気機器を接続して、電気が供給されているかを確かめてください。

ブーンというノイズが聞こえる

- ▶ 接続ケーブルの近くに電源コードや蛍光灯等がある場合は、本機からできるだけ遠ざけてください。

音が出ない

- ▶ 外部機器の接続をもう一度確認してください。
- ▶ USB DAC の接続を確認してください。
- ▶ TEAC HR Streamer の音量を上げる、また、消音を解除してください。

仕様

デジタル音声入力 *

| | |
|---|--|
| Wi-Fi® | 1 |
| 2.4GHz | |
| IEEE 802.11b/g/n/ax | |
| 2.400 GHz ~ 2.4835GHz (2.4GHz ISM Band) | |
| 5GHz | |
| IEEE 802.11a/n/ac/ax | |
| 5.15~5.35GHz、5.47~5.725GHz、5.725~5.85GHz (5GHz UNII Band) | |
| SFP | 1 |
| | (SFP) |
| RJ45 | 1 |
| | (1000BASE-T) |
| 対応ファイルフォーマット | |
| PCM ロスレス | FLAC、Apple Lossless(ALAC)、WAV、AIFF、MQA |
| DSD ロスレス | DSF、DSDIFF (DFF)、DoP |
| 圧縮オーディオ | MP3、AAC (m4a コンテナ) |
| USB フラッシュドライブ端子 | 2 |
| | (Type A / Type C、USB2.0 準拠) |
| 最大供給電流 | 0.5 A |
| 対応ファイルシステム | |
| | FAT32、exFAT または NTFS |
| | シングルパーティション |

* USB フラッシュドライブ端子 / ネットワークについては、TEAC HR Streamer 取扱説明書を参照してください。

デジタル音声出力

| | |
|--------|---------------------------|
| USB | 1 |
| | (Type A、USB オーディオクラス 2.0) |
| 最大供給電流 | 0.5 A |

信号形式

| | |
|---------|---|
| リニア PCM | 32/44.1/48/88.2/96/176.4/ 192/352.8/384/705.6/768kHz (ステレオ) |
| | 16 bit、24 bit、32 bit |

● 32bit は整数型フォーマットに加え浮動小数点 (32bit フロート) フォーマットのファイルも再生可能

DSD 2.8/5.6/11.2/22.5MHz
(ステレオ)

一般

| | |
|--------|---|
| 電源 | AC 100 V 50/60 Hz |
| 消費電力 | 28 W |
| 外形寸法 | 290 × 84.7 × 246 (mm) (W × H × D、突起部を含む) |
| 質量 | 4.3 kg |
| 許容動作温度 | +5°C ~ +35°C |
| 許容動作湿度 | 5% ~ 85% (結露のないこと) |
| 許容保管温度 | -20°C ~ +55°C |

付属品

| |
|----------------------|
| 電源コード × 1 |
| アンテナ × 2 |
| フット用クッション × 3 |
| 取扱説明書 (本書、保証書付き) × 1 |

- 仕様及び外観は改善のため予告なく変更することがあります。
- 取扱説明書のイラストが一部製品と異なる場合があります。

■ 保証書

取扱説明書の裏表紙が保証書になっています。保証書は、お買い上げの際に販売店が所定事項を記入してお渡ししておりますので、大切に保管してください。万が一販売店印の捺印やご購入日の記載が無い場合は、無償修理保証の対象外になりますので、ご購入時のレシートなどご購入店・ご購入日が確認できるものを一緒に保管してください。保証期間はお買い上げ日より1年です。

■ 補修用性能部品の保有期間

当社は、この製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後8年間保有しています。

■ ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談、並びにご不明な点は、お買い上げの販売店またはティアック修理センター（裏表紙に記載）にお問い合わせください。

■ 修理を依頼されるときは

15ページの「困ったときは」に従って調べていただき、なお異常のあるときは使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店またはティアック修理センター（裏表紙に記載）にご連絡ください。

なお、本体の故障もしくは不具合により発生した付随的損害（録音内容などの補償）の責についてはご容赦ください。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って、修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料にて修理させていただきます。

修理料金の仕組み

技術料：故障した製品を正常に修復するための料金です。

測定機等の設備費、技術者的人件費、技術教育費が含まれています。

部品代：修理に使用した部品代金です。

その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。

その他：製品を送るために必要な送料／梱包料などがあります。

修理の際ご連絡いただきたい内容

型名：ネットワークトランスポート

NT-507T

シリアルナンバー：

お買い上げ日：

販売店名：

お客様のご連絡先

故障の状況（できるだけ詳しく）

■ 廃棄するときは

本機を廃棄する場合に必要になる収集費などの費用は、お客様のご負担になります。

分解・改造禁止

この機器は絶対に分解・改造しないでください。
この機器に対して、当社指定のサービス機関以外による修理や改造が行われた場合は、保証期間内であっても保証対象外となります。

当社指定のサービス機関以外による修理や改造によってこの機器が故障または損傷したり、人的・物的損害が生じても、当社は一切の責任を負いません。

保証書

| | | |
|-----------------|---------------------------|---------------|
| 品名 および 形名 | ネットワークトランSPORT NT-507T | |
| 機番 | | |
| 保証期間 | 本体 | 1年 |
| お買上げ日 | 年 月 日 | |
| お客様 | お名前 ご住所 電話 | 様 〒 () |

見本

この保証書は、本書記載内容で無料修理を行うことを約束するものです。お買上げの日から左記期間中に故障が発生した場合は、本書をご提示の上、取扱説明書に記載のティアック修理センターまたはお買上げの販売店に修理をご依頼ください。

お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

| | |
|-----|--------------|
| 販売店 | 所在地 名称(印) |
| | 本 |
| 電話 | () |

無料修理規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で保証期間内に故障が発生した場合には、ティアック修理センターが無料修理いたします。
- 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、本書をご提示の上、ティアック修理センターまたはお買上げの販売店に修理をご依頼ください。商品を送付していただく場合の送付方法については、事前にティアック修理センターにお問い合わせください。
無償修理の対象は、お客様が日本国内において購入された日本国内向け当社製品に限定されます。
- ご転居、ご贈答品等でお買上げの販売店に修理をご依頼になれない場合は、ティアック修理センターにご連絡ください。
- 次の場合には保証期間内でも有料修理となります。
 - ご使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
 - お買上げ後の輸送・移動・落下などによる故障および損傷
 - 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷
 - 接続している他の機器に起因する故障および損傷
 - 業務用の長時間使用など、特に苛酷な条件下において使用された場合の故障および損傷

- メンテナンス
- 本書の提示がない場合
- 本書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名(印)の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
- 本書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

※この保証書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。この保証書によって保証書を発行しているもの(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、ティアック修理センターにお問い合わせください。

※保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間にについての詳細は、取扱説明書をご覧ください。

ティアック株式会社

〒206-8530 東京都多摩市落合1-47 <https://teac.jp/jp>



この製品のお取り扱い等についてのお問い合わせ

AV お客様相談室 〒206-8530 東京都多摩市落合1-47

042-356-9235 携帯電話、IP電話をご利用の場合

0570-000-701 固定電話をご利用の場合

FAX: 042-356-9242

受付時間は、10:00～12:00/13:00～17:00です。

(土・日・祝日・弊社指定休日を除く)

●住所や電話番号は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

故障・修理や保守についてのお問い合わせ

ティアック修理センター 〒358-0026 埼玉県入間市小谷田858

04-2901-1033 携帯電話、IP電話をご利用の場合

0570-000-501 固定電話をご利用の場合

FAX: 04-2901-1036

受付時間は、9:30～12:00/13:00～17:00です。

(土・日・祝日・弊社指定休日を除く)